

平成 17 年 8 月 15 日

豊島五丁目団地にお住まいの皆様へ

都市再生機構東日本支社

豊島五丁目団地内土壌調査の結果について（お知らせ）

日頃から都市再生機構の業務につきましては、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、当機構では、今年6月中旬の土壌表層調査（地表下 0～5cm）の結果を受け、環境基準値を上回った7箇所及び環境基準値と同等の2箇所において、深度方向のダイオキシン類調査を実施いたしました。その結果、地中から環境基準値（注1）を上回るダイオキシン類が検出されました。（別図1参照）

今回の調査結果の速報値を当機構内に設置した「豊島五丁目団地土壌汚染調査・対策等検討委員会」（注2）に提出し意見を求めたところ、「今回、深度調査を実施した箇所においては、既に緊急対策（注3）が実施されており、ダイオキシン類の飛散防止及び直接摂取防止は図られているので、当面、日常生活をする上で支障があるとは考えがたい。」との見解を得ました。

また、当機構では、お子様の遊び場について、土壌表層調査で環境基準値を下回ったものの調査指標値（注4）以上となったダスト舗装遊び場3箇所のダスト層のみを採取し分析も実施しました。その結果、お子様が直接接触れるダスト層のみではダイオキシン類濃度は環境基準値を大幅に下回りました。（別図2参照）

しかしながら、当該3箇所については、より一層の安全性を確保するため、委員会で決定した対策工事（注5）を8月～9月にかけて順次実施してまいります。お住まいの皆様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

上記調査のほか、現在、土壌表層調査で環境基準値を下まわり調査指標値以上となった20箇所について、試料の混合分析（3～5点混合）に加えて個別に分析を実施しています。また、先に行った大気調査のほか、別の場所2箇所（別図4の③④）で採取した大気の実験も行っております。これらの結果も今後順次判明いたしますので、その都度皆様にお知らせしていきたいと考えています。

なお、今回の深度調査により、地中の土壌が一定の範囲でダイオキシン類により汚染されていることが確認されましたので、汚染の範囲を確認する深度調査を、団地内生活空間を対象に実施します。実施時期等は別途お知らせいたします。

当機構では、今後も当委員会において、必要な調査及び恒久的な対策を、関係機関との協議を踏まえ、検討してまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

(注1) 環境基準値 1000pg-TEQ/g

※pg=1兆分の1グラムのこと

※TEQ=毒性等量：ダイオキシン類は、毒性の強さがそれぞれ異なっており、毒性があるとされている29種類のうち最も毒性が強い2,3,7,8-TCDDの毒性を1として他のダイオキシン類の毒性の強さを換算した係数をかけて、その合計値で表したものの。

(注2) 豊島五丁目団地土壌汚染調査・対策等検討委員会

外部学識経験者を主な構成員とする機構内部の委員会。平成17年5月20日付で設置した。委員長は東京農工大学大学院細見教授

(注3) 緊急対策

①植栽（高木を除く）をカットする。②不織布（ふしよくふ）シートを敷き詰める。③約20cmの客土を行なった上芝等の種子吹付けを施す。

(注4) 調査指標値 250pg-TEQ/g

(注5) 対策工事（別図3-1, 2）

・ダイヤモンド公園（No16）

砂場の砂を入れ替えるほか、既存のダスト舗装の上に不織布（ふしよくふ）シートを敷き詰め、砂敷（厚さ2cm）を行い、天然素材のチップボード（厚さ3cm）を敷き詰める。周辺の植栽地は、上記（注3）の緊急対策を実施する。

・プリン山周辺（No30周辺）

砂場の砂を入れ替えるほか、既存のダスト舗装の上に不織布（ふしよくふ）シートを敷き詰め、砂敷（厚さ2cm）を行い、天然素材のチップボード（厚さ3cm）を敷き詰める。

・ダストグラウンド（No33）

既存のダスト舗装の上に不織布シートを敷き詰め、普通土及び砕石敷き（厚さ20cm）を行い、ダスト舗装（厚さ5cm）を表層に施す。

【お問い合わせ先】

都市再生機構東日本支社

担当/住まいサポート業務部業務チーム

電話 03-5323-3297（直通）

住まいサポート業務部住宅保全チーム

電話 03-5323-8076（直通）

東京北住宅管理センター

電話 03-5954-4611（代表）



エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
21	1	0.00~0.05m	380
	2	0.5m	10,000
	3	1.0m	15,000
	4	2.0m	19,000
	5	3.0m	9,900
	6	4.0m	110
	7	5.0m	1.1
	8	5.63m	71
	9	6.65m	0.75
	10	7.0m	0.0030

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
20	1	0.00~0.05m	510
	2	0.5m	9,000
	3	1.0m	10,000
	4	2.0m	2,800
	5	3.0m	1,600
	6	4.0m	34
	7	5.0m	14
	8	6.0m	0.30

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
28	1	0.00~0.05m	5,600
	2	0.5m	1,900
	3	1.0m	5,400
	4	2.0m	180
	5	3.0m	3.9
	6	4.0m	4.4
	7	5.0m	1.7

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
4	1	0.00~0.05m	2,600
	2	0.5m	2,100
	3	1.0m	480
	4	2.0m	1.8
	5	3.0m	0.27
	6	4.0m	0.071
	7	5.0m	0.092

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
34	1	0.00~0.05m	47
	2	0.3m	1,300



深度5mまでを標準とし、自然地盤に達するまでの深度を調査深度とした。
 NO.18については6.0mまで、NO.21については7.0mまでの調査を実施した。
 NO.34については地下に水道、ガス、電気、電話等のインフラ管の存在が確認され、その位置が明確でないため0.3mまでの調査とした。

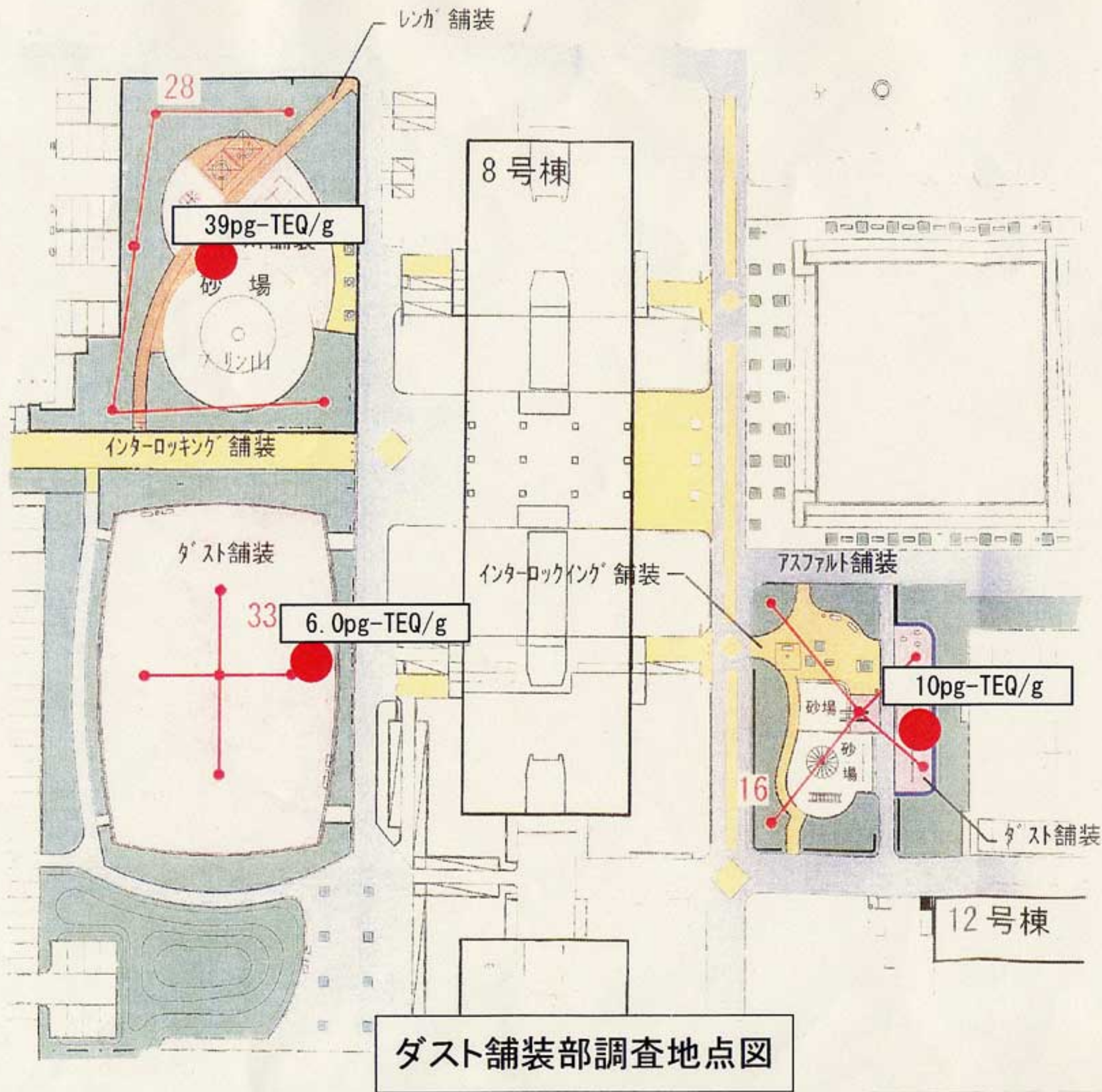
エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
37	1	0.00~0.05m	4,300
	2	0.5m	2,300
	3	1.0m	27
	4	2.0m	340
	5	3.0m	910
	6	4.0m	1,800
	7	5.0m	1.5

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
26	1	0.00~0.05m	2,200
	2	0.5m	6,700
	3	1.0m	8,700
	4	2.0m	7,100
	5	3.0m	3,400
	6	4.0m	27
	7	5.0m	25

エリアNo.	試料No.	深 度	分析結果 (公定法)
			単位pg-TEQ/g
22	1	0.00~0.05m	630
	2	0.5m	6,200
	3	1.0m	13,000
	4	2.0m	910
	5	3.0m	30
	6	4.0m	620
	7	5.0m	2.4

エリアNo.	試料No.	試料名	分析結果 (公定法)
			pg-TEQ/g
18	1	0.00~0.05m	1,500
	2	0.5m	2,200
	3	1.0m	2,700
	4	2.0m	59
	5	3.0m	3,700
	6	4.0m	1,200
	7	5.0m	160
	8	6.0m	<50

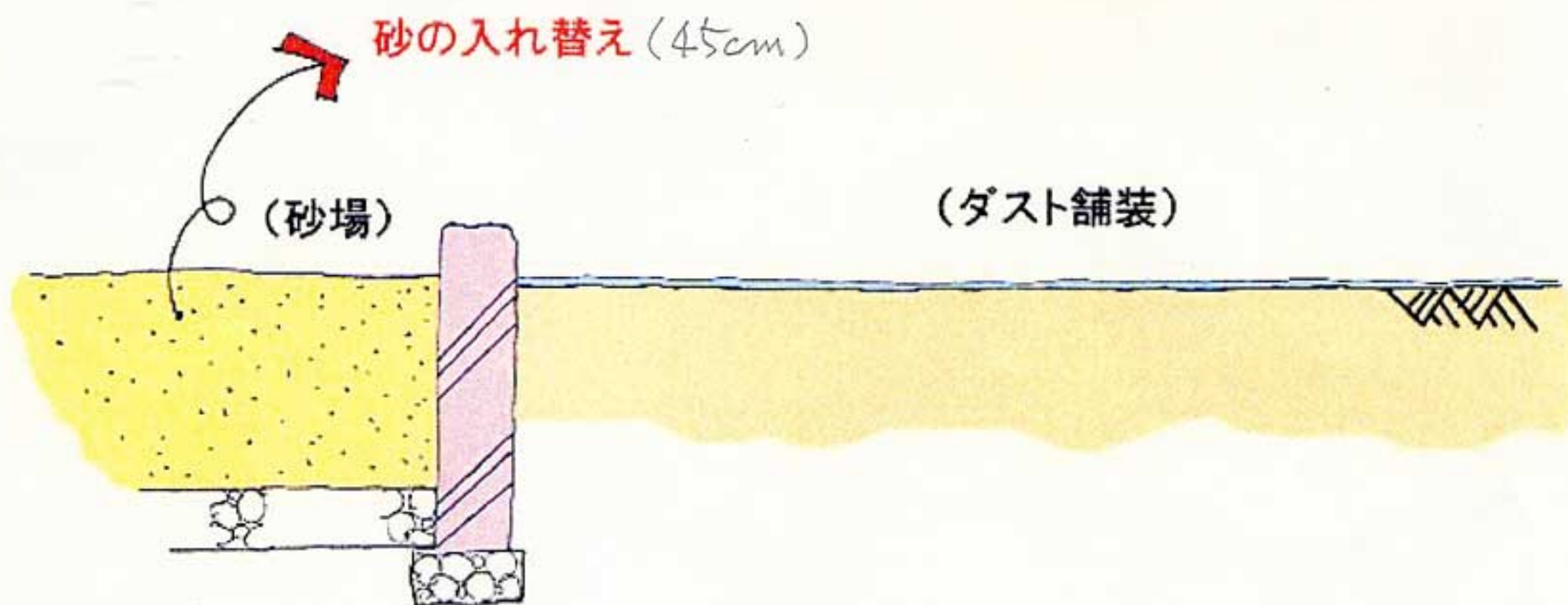
環境基準値超過地点及び1000pg-TEQ/g地点の深度別ダイオキシン類濃度一覧



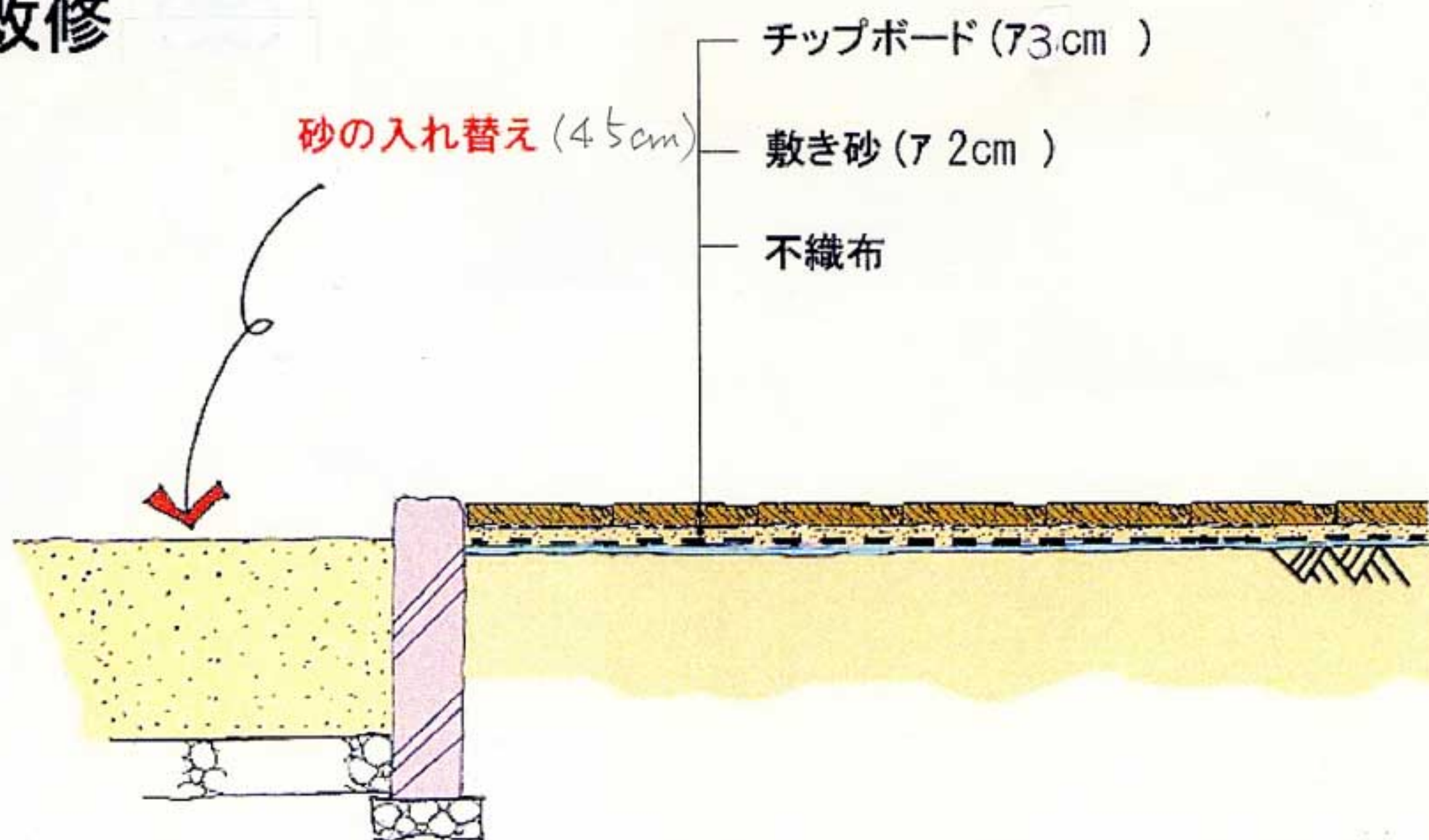
NO. 16、NO. 28個所のダスト舗装については【遊び場改修】により緊急対策。
 NO. 33個所のダスト舗装については【ダストグラウンド改修】により緊急対策。

【遊び場改修】

現況

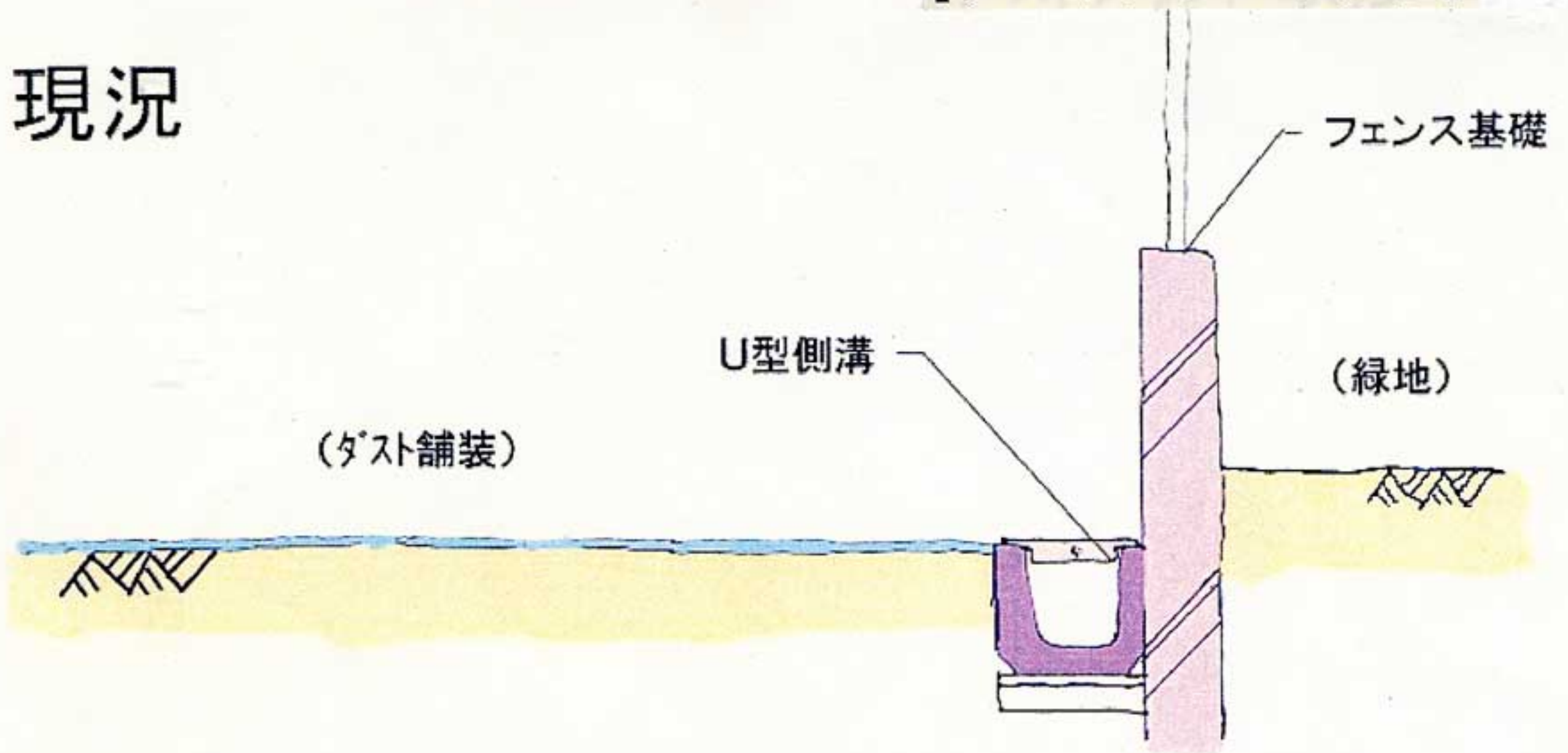


改修

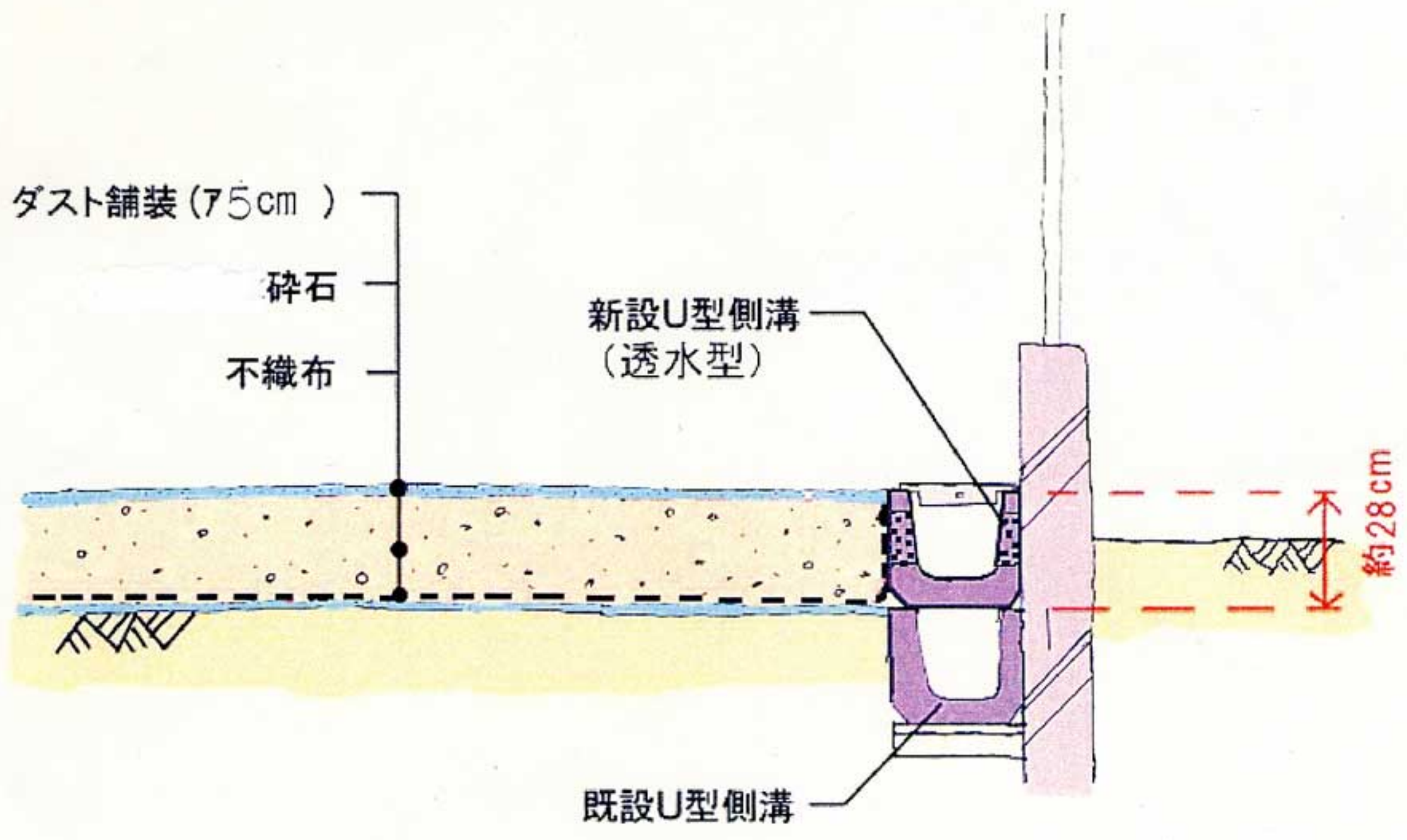


【ダストグラウンド改修】

現況



改修



調査地点配置図（大気追加調査）



計画図。イメージ図は実際と多少異なる場合があります。